



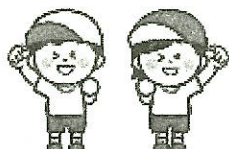
# 学校だより

11月号 第409号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

## 特別活動で育まれる資質・能力

～小さな社会の一員として～



副校長 稲富 陽子

日に日に秋が深まる季節となりました。皆様には日頃より本校の教育活動につきまして、ご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

16日の山田スポチャレ(運動会)は、晴天に恵まれる中、低・中・高学年ブロックごとの入れ替え制で、それぞれの学年が、演技と徒競走に精いっぱい取り組むことができました。保護者の皆様には、温かい拍手と見守りをいただきありがとうございました。

今年度前半は、全校一斉はもちろん、学年やブロックでの活動は、ほとんど行うことができませんでした。当日スポチャレの演技をする子どもたちの表情からは、どの学年も自信と満足感が伝わってきました。一人ひとりの一生懸命が重なると、一人で頑張るときよりも、もっと喜びや楽しさが、大きくなるということを実感しているようでした。

運動会は、特別活動の学校行事にあたります。練習から本番後の振り返りまでのプロセスの中で、「大きな集団で協力して取り組むことのよさや大切さ」を感じ、「友達と協力しながら一体感をもって取り組む力」「めあてに向かって努力する態度」等の資質・能力が、学年段階に応じ育まれていたことが分かります。

先日の朝会では、子どもたちに係活動や委員会活動について話をしました。

係活動は、決められた仕事をする掃除や給食当番と違って、学級や学級のみんながもっとよくなったり、過ぎしやすくなったり、楽しくなったりするように考えて行う活動です。「学級をよりよくする活動を協力して考える」「決めたことの実践」「振り返り」「うまくいかなかったことを修正して再び計画」…という経験を積み重ねていく中で身に付けた力は、5・6年生になると委員会活動で山田小学校をよりよくする活動の中で発揮することにつながっていきます。今年度は9月からようやく委員会活動がスタートしました。休み時間等には、山田小のみんなが気持ちよく過ごせるようにと、5・6年生が張り切って活動している様子をよく見かけるようになりました。主体的に活動することを通して「自分のよさを発揮して、学校全体のために、協力しながら見通しをもって活動する力」や「組織を生かして活動し、学校生活をよりよいものにしていこうとする態度」等が育まれています。これらは、社会に出てからも必要となってくる資質・能力といえます。

子どもたちは、小さな社会(学級・学年・学校)の一員としての意識をもち、日々成長を続けています。